

Salla suttaṃ (Sutta-nipāta III-8)

サッラ スッタ

せん きょう 箭 経

574. Animittam anaññātam maccānamidha jīvitam
アニミッタ アナンニャータン マッチャーナミダ ジーヴィタン
Kasirañ ca parittañ ca, tañ ca dukkhena saññutam.
カシラン チャ パリッタナ チャ タン チャ ドウクケーナ サンニユタン
575. Na hi so upakkamo atthi, yena jātā na miyyare,
ナ ヒ ソー ウパッカモ アッティ イェーナ ジャータ ナ ミヤレ
Jaram pi patvā maraṇam, evaṃ dhammā hi pāṇino.
ジャラン ピ パトゥワー マラナン エーワン ダンマー ヒ パーニノー
576. Phalānam iva pakkānam pāto patanato bhayaṃ,
パラナミワ パッカーナン パートー パタナトー バヤン
Evaṃ jātāna maccānam niccaṃ maraṇato bhayaṃ.
エーワン ジャーターナ マッチャーナン ニッチャン マラナトー バヤン
577. Yathā pi kumbhakārassa katā mattika bhājanā
ヤター ピ クンバカーラッサ カター マッティカ バージャナー
Sabbe bhedanapariyantā, evaṃ maccāna jīvitam.
サッベー ベーダナパリヤンター エーワン マッチャーナ ジーヴィタン
578. Daharā ca mahantā ca ye bālā ye ca paṇḍitā
ダハラ チャ マハンター チャ イェー バラー イェー チャ パンディター
Sabbe maccu vasaṃ yanti, sabbe maccu parāyanā.
サッベー マッチュ ワサン ヤンティ サッベー マッチュ パラーヤナー

574. 徴^{しるし}もなし。予告もなし。この世の人の命というものは、
惨^{みじ}めなもの。儂^{はかな}いもの。その上、苦しみに陥っている。
575. 生まれた者が死なずにすむ、その手立ては何もなし。
「老いて老いて、死に至る」。生きるものにはこのきまり。
576. たわわに実った果実なら、夜明けとともに落ちるやも。
生まれた人も同じこと。死の怖れ、常にあり。
577. 陶工の作る土の器が、最後は必ず壊れる。
人の命もそんなもの。
578. 子供であれ大人であれ、愚者であれ賢者であれ、
みんな死の力に征服されている。死はみなが行き着くところ。

579. Tesaṃ maccuparetānaṃ gacchatam paralokato
 テーサン マッチュパレーターナン ガッチャタン パラローカトー

Na pitā tāyate puttam nātī vā pana nātake.

ナピターターヤテー プッターン ニヤーティーワー パナニヤータケー

580. Pekkhatam yeva nātīnaṃ passa lālapatam puthu
 ペッカタン イェーワニヤーティーナン パッサラーラパタン プトゥ

Ekameko va maccānaṃ go vajjho viya niyyati.

エーカメーコーワ マッチャーナン ゴーワッジョー ヴィヤニッヤティ

581. Evaṃ abbhāhato loko maccunā ca jarāya ca,
 エーワン アッパーハトローコー マッチュナー チャジャラーヤチャ

Tasmā dhīrā na socanti veditvā lokapariyāyāṃ.

タスマーデーラーナソーチャンティ ヴィデイトウワー ローカパリヤーヤン

582. Yassa maggaṃ na jānāsi āgatassa gatassa vā,
 ヤッサ マグガン ナジャーナースイ アーガタッサガタッサワー

Ubho ante asampassaṃ nirattham paridevasi.

ウポー アンテー アサンパッスイン ニラッタン パリデーワスイ

583. Paridevayamāno ce kañcid attham udabbahe
 パリデーワヤマーノー チェー カンチダッタン ウダッパヘー

Sammūlho hiṃsam attānaṃ kayirā c'enaṃ vicakkaṇo.

サンムールホー ヒンサマッターナン カイラー チェーナン ヴィチャッカノー

584. Na hi ruṇṇena sokena santim pappoti cetaso,
 ナヒルンネーナソーケーナ サンティン パッポティ チェータソー

Bhiyy' ass' uppajjate dukkham, sarīraṃ cupahaññati,

ビィヤッスッパッジャテー ドウツカン サリーラン チュパハンニャティ

579. 死があに世にさらって行くのに、

父でも息子を救えない。親族でも親族を救えない。

580. 泣きわめく親族の目の前で、さらわれていくのを見よ。

人は孤独で死に至る。屠場に牽かれる牛のように。

581. 老いと死が常にこの世を攻撃する。

世のこの理を知る賢者には悲しみなし。

582. どこから来た者か、またどこへ逝ったか、それ、あなたは知らない。

両辺も見えないその人のために、あなたは無意味に嘆く。

583. 泣き叫ぶことで得する何かがあるならば、

それは頭の混乱、そして自己いじめ。智慧ある人ならこのように知る。

584. こころのやすらぎは泣き崩れること、嘆き悲しむことでは得られない。

苦しみだけは増すばかり。身体はますます損なわれる。

585. Kiso vivaṇṇo bhavati hiṃsam attānam attanā:

キソー ヴィワンノー バワティ ヒンサマッターナマッタナー

Na tena petā pārenti, niratthā paridevanā.

ナ テーナ ペーター パーレンティ ニラッター パリデーワナー

586. Sokam appajahaṃ jantu bhiyyo dukkhaṃ nigacchati,

ソーカマッパジャハン ジャントウ ビッヨー ドウツカン ニガツチャティ

Anutthunanto kālakaṭaṃ sokassa vasam anvagū.

アヌットウナントー カーラカタン ソーカッサ ワサマンワグー

587. Aññe pi passa gamine yathā kammūpage nare,

アンニェー ピ パッサ ガミネー ヤター カンムーパゲー ナレー

Maccuno vasam āgamma phandante v'idha pāṇine.

マツチユノー ワサマーガンマ パンダンテー ヴィダ パーニネー

588. Yena yena hi maññanti tato taṃ hoti aññathā,

イエーナ イエーナ ヒ マンニヤンティ タトー タン ホーティ アンニヤター

Etādiso vinābhāvo, passa lokassa pariyāyaṃ:

エーターディソー ヴィナーバーヴォー パッサ ローカッサ パリヤーヤン

589. Api ce vassasataṃ jīve bhiyyo vā pana mānava,

アピ チェー ワッササタン ジーヴェー ビッヨー ワー パナ マーナヴォー

Ñāṭisaṃghā vinā hoti, jahāti idha jīvitaṃ.

ニャーティサンガー ヴィナー ホーティ ジャハーティ イダ ジーヴィタン

590. Tasmā arahato sutvā vineyya paridevitaṃ

タスマー アラハトー ストゥワー ヴィネッヤ パリデーヴィタン

Petaṃ kālakaṭaṃ disvā 'na so labbhā mayā 'iti.

ペータン カーラカタン ディスワー ナ ソー ラッバー マヤー イティ

585. 身はやつれ、顔色は悪くなる。自分で自分を傷つける。

死者の供養にもならない悲しむことは、無駄なだけ。

586. 悲しみを断ち切らない者が、なおさら苦悩に陥る。

亡き人を嘆く人は、悲しみに呑み込まれる。

587. 摂理によって死んでいく他の人々も見るがよい。

死期が近づくと、生命は震えるもの。

588. どのように思い願っても、起こることはその逆です。

(死なないようにと思っても、必ず死は訪れる。)

無常というのはそういうこと。世間の有様を観てごらん。

589. もし百年、あるいはもっと長く人が生きるとしても、

親族が死別する。ついに自分も命を捨てる。

590. それゆえ、覚者に学び、悲嘆を克服する。

逝った死者を見て、「この人、もはや得られない」と〔知る〕。

591. **Yathā saraṇam ādittam vārinā parinibbaye,**
 ヤター サラナマーディッタナン ワーリナー パリニッバイエー
Evam pi dhīro sappañño paṇḍito kusalo naro
 エーワン ピ ディーロー サッパンニョー パンディトー クサロー ナロー
Khippam uppatitam sokam vāto tūlam va dhamṣaye
 キッパム ッパティタン ソーカン ワートー トウーラン ワ ダンサイエー

592. **Paridevaṃ pajappañ ca domanassañ ca attano:**
 パリデーワン パジャッパン チャ ドーマナッサン チャ アッタノー
Attano sukham esāno abbahe sallam attano.
 アッタノー スカメーサーノー アッパヘー サッラマッタノー

593. **Abbūḥa sallo asito santiṃ pappuyya cetaso,**
 アップールハ サッロー アサイトー サンティン パップッヤ チェータソー
Sabbasokam atikkanto asoko hoti nibbuto ti.
 サッパソーカン アティッカントー アソーコー ホーティ ニブトー ティ

SALLASUTTAM NIṬṬITAM.

591. 家についた火を水で消し去るように、
 智慧に満ちた賢者、巧みな人は、湧き起こった悲しみを、
 風が綿花を吹き払うように、即座に消す。

592. 自分の憂い、未練、悲しみを引き抜くこと。
 自分の幸福を求める者は、
 刺さった〔悲しみの〕箭を引き抜くのである。

593. 箭を引き抜き、涼やかになり、こころのやすらぎを得る。
 一切の悲しみを乗り越えて、悩みなき寂靜に達する。

箭経完了